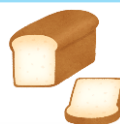


賃金引上げに向けた取組事例

CASE 1 Panification U



🏢 企業データ

- ☆ 代表:氏家 由二
- ☆ 事業所所在地:栃木県宇都宮市
- ☆ 従業員数:10名
- ☆ 設立:平成25年10月
- ☆ 事業内容:パンの製造・販売



～賃金引上げで従業員の定着促進！～

Panification Uは天然酵母を使ったカンパーニュやバゲットなどハード系を中心としたパンの製造・販売を行っている人気店である。

同店は令和6年に大幅な賃金引上げを行った。氏家代表は、「物価高の中、賃金を引き上げていかないと従業員の生活にも影響が出てしまいます。そこで、従業員が離職しないで定着してほしいとの気持ちから賃金を引き上げました。その思いが通じたのか、従業員が喜んでくれ、全員今も職場に定着して戦力になってくれています。」と語る。

同店が賃金引上げに向けてどのような取組を行ったのか迫ってみた。

～業務改善助成金活用により自動釣銭機を導入！設備投資により業務を効率化～

賃金引上げのためにはより一層の生産性向上・売上増加が必要となる。そこで同店では他の飲食店からの情報で業務改善助成金の存在を知り、同助成金の活用により自動釣銭機を導入した。それまでは顧客との現金の受け渡し時にどうしても会計誤りが出てしまうことが避けられなかったが、自動釣銭機導入後は会計誤りがなくなり、閉店後のレジ作業も簡単にできるようになった。従業員も自動釣銭機が導入されたことで商品の値段が変わっても覚えなおす手間が省け、その分商品の袋詰めなど人の手が必要な業務に注力できるようになり、業務の効率化が進んだ。

氏家代表は「業務の効率化が図れたほか、自動釣銭機導入により、商品の値段が変わったときに従業員が値段を覚えなおさないで済むようになったので、暗記が得意でない方にも仕事をしていただけるようになるメリットもありました。助成金の申請は初めてでしたし、労務管理の専門家ではないのでパンフレットを読んでも用語の理解が難しくはじめは戸惑ったのですが、栃木労働局雇用環境・均等室に問い合わせたら担当者が丁寧に教えてくれました。助成金の申請が終わってみれば、当初思っていたより大変ではなかったという印象です。設備投資はどうしてもお金がかかるのでなかなか大変なのですが、業務改善助成金で補助が得られたので助かりました。」と語る。



～今後の賃金引上げ・生産性向上の取組展望～

「賃金相場はまだ上がり続けると思います。これからも設備投資・業務改善を進めて従業員の賃金を相場に負けないよう引き上げていきたいです。」と氏家代表は語る。

Panification Uは今日もこだわり素材を使ったパンで顧客の食卓を豊かにする。